

A modern conference room with a long wooden table, black leather chairs, and a large screen on the wall. The room has a blue and white geometric patterned carpet and a white wall with a grid pattern. The ceiling is recessed with several lights.

4 2025年3月期決算概要

4 業績概要



Change & Challenge

富山銀行

● コア業務純益

資金利益が増加する一方で、人的資本投資及び設備投資分等の経費増加から、

1,043百万円 (前期比+11百万円)

● 経常利益

コア業務純益の増加及び与信費用が減少したことから、

1,212百万円 (前期比+468百万円)

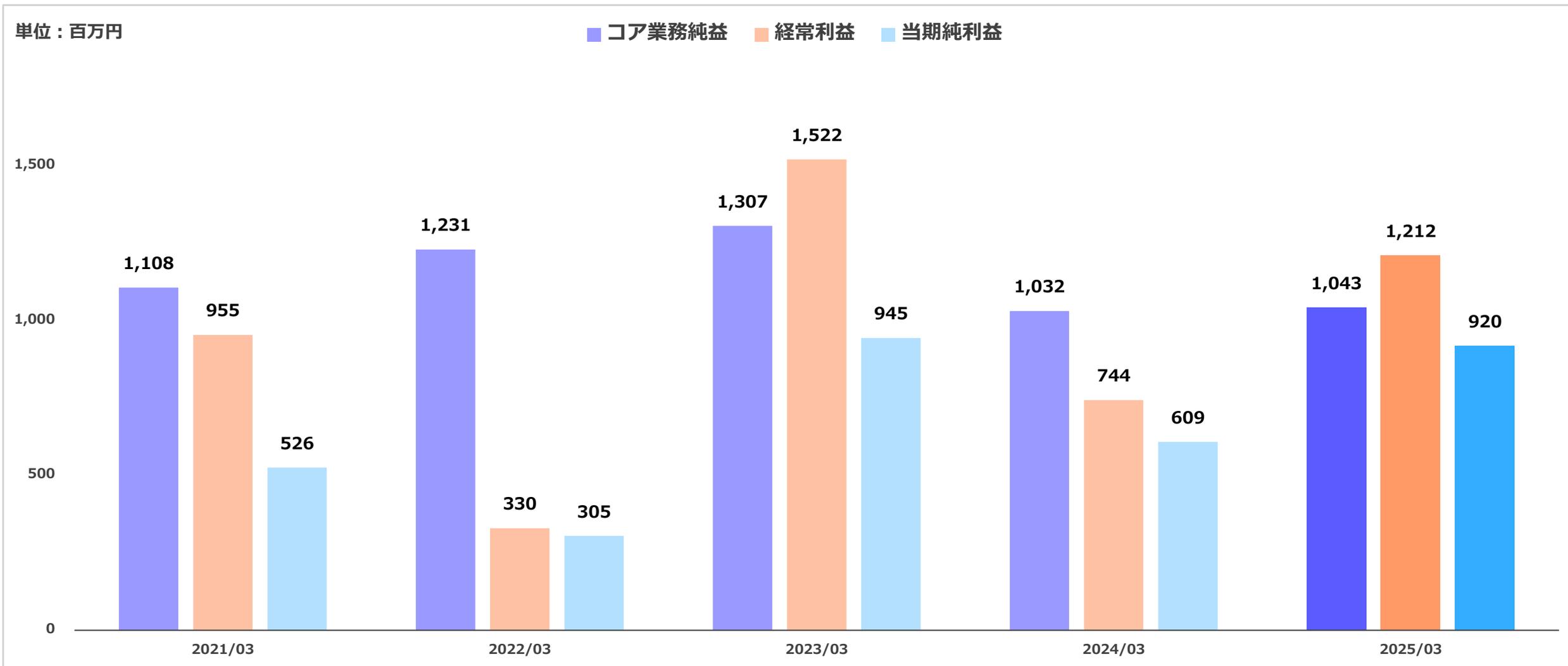
● 当期純利益

920百万円 (前期比+310百万円)

損益状況 (単位：百万円)	2025年3月期	2024年3月期比	2024年3月期
経常収益	8,069	△438	8,508
業務粗利益	6,194	417	5,777
資金利益	5,384	191	5,192
役務取引等利益	990	△38	1,029
その他業務利益	△180	264	△444
経費 (除く臨時処理分)	5,339	136	5,202
コア業務純益	1,043	11	1,032
一般貸倒引当金繰入額	143	△177	321
業務純益	711	458	253
臨時損益	501	10	491
うち不良債権処理額	466	△802	1,269
うち貸倒引当金戻入益 (貸倒償却引当費用)	— 610	— △980	— 1,590
うち株式等関係損益	563	△993	1,557
経常利益	1,212	468	744
特別損益	△3	8	△12
当期純利益	920	310	609

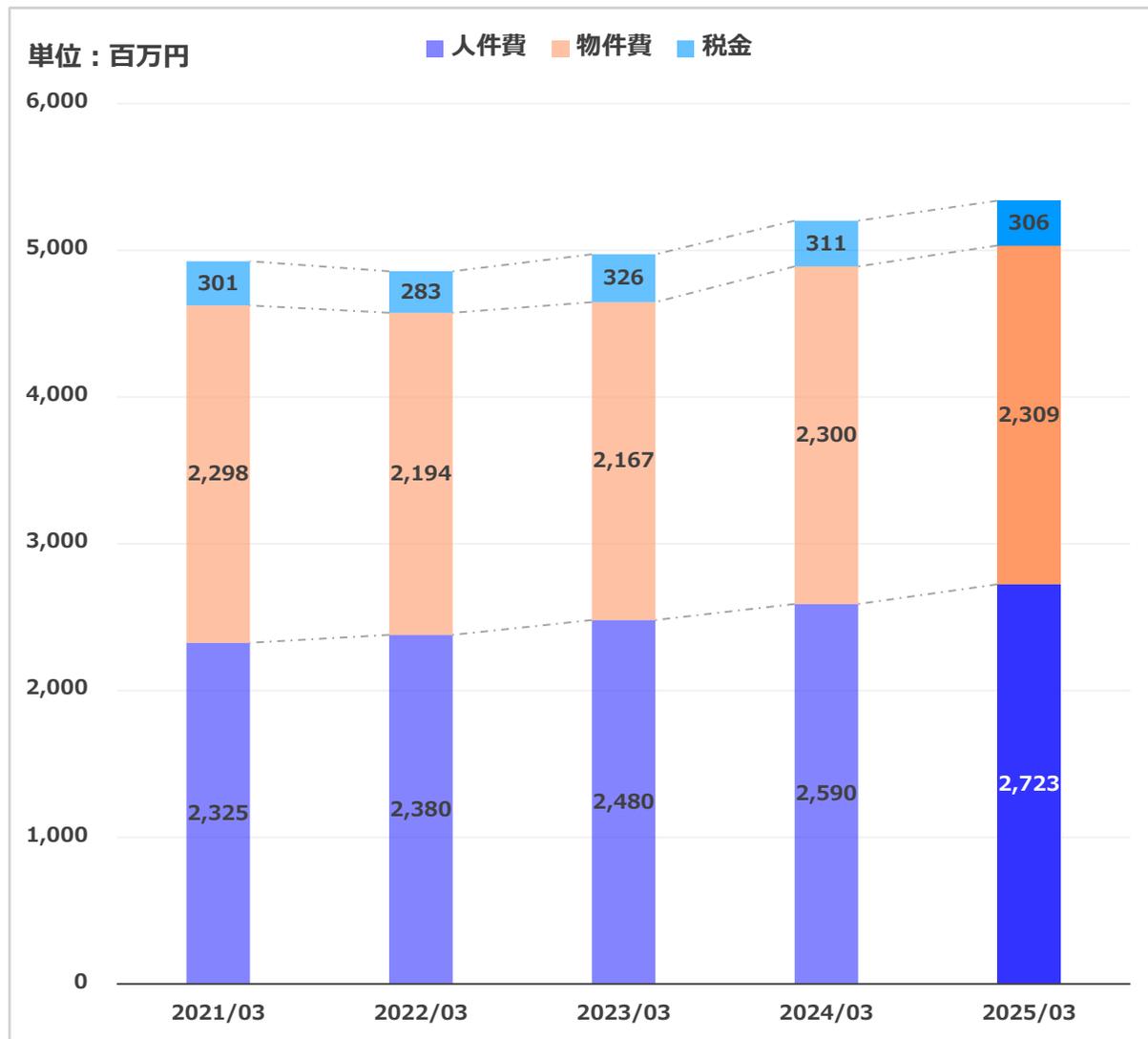
4 利益の推移

コア業務純益・経常利益・当期純利益推移

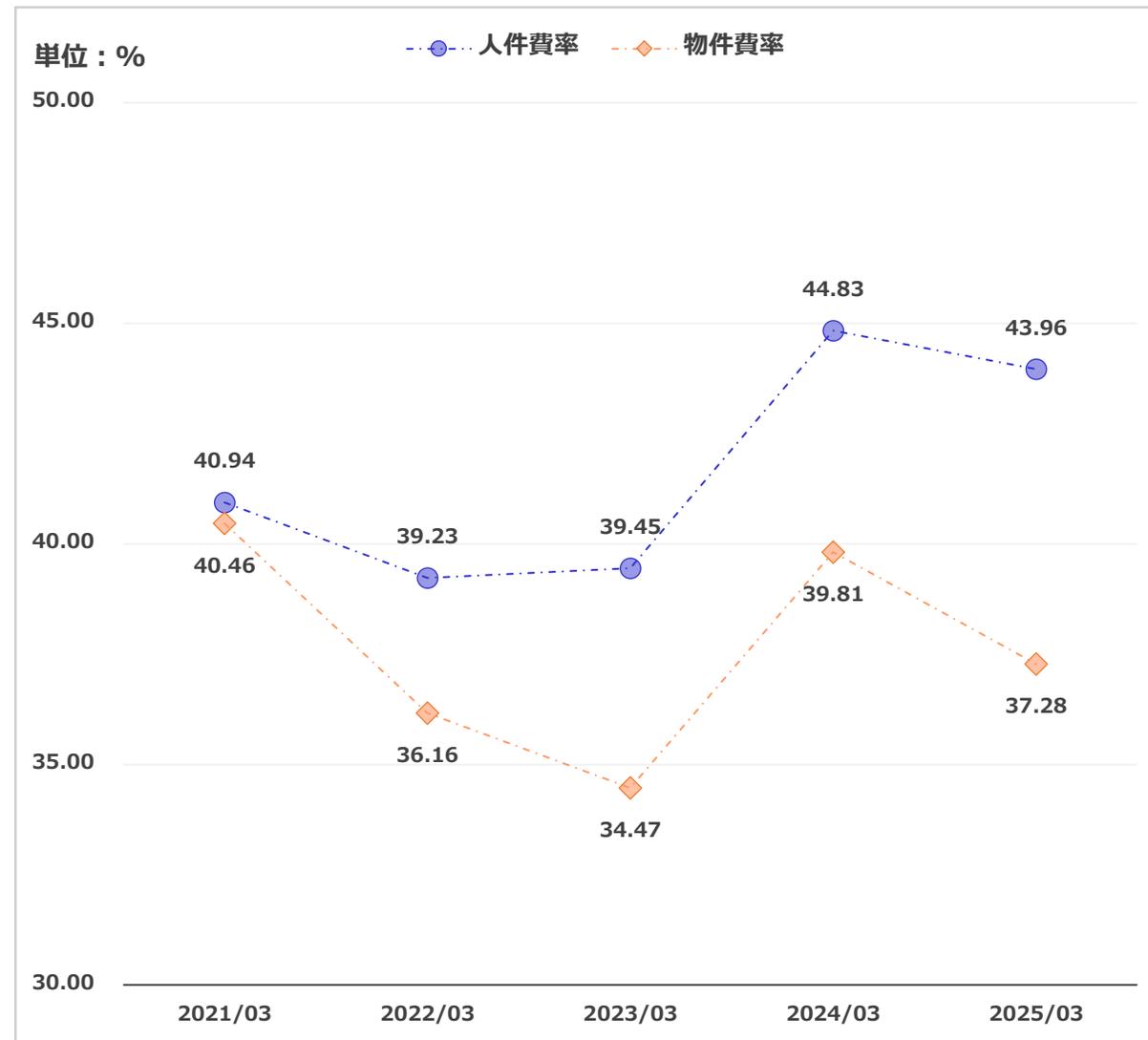


4 経費の推移

人件費・物件費・税金推移



人件費率・物件費率推移

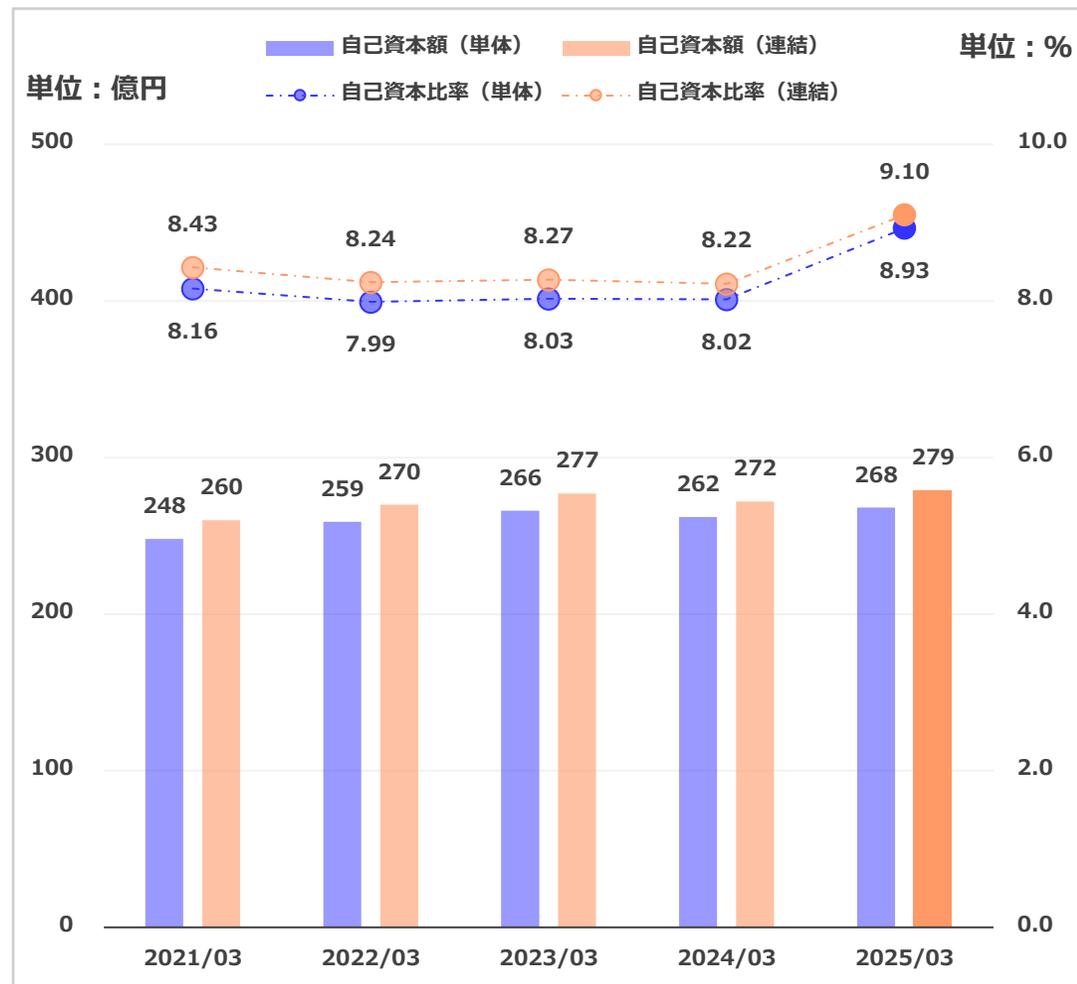


4 資本金額・自己資本比率の推移

資本額等推移 (単位：億円)	2021/03	2022/03	2023/03	2024/03	2025/03
単体					
株主資本	247	247	254	257	262
自己資本額	248	259	266	262	268
リスク・アセット	3,049	3,241	3,312	3,275	3,006
連結					
株主資本	257	257	264	268	273
自己資本額	260	270	277	272	279
リスク・アセット	3,091	3,282	3,352	3,316	3,068

自己資本比率推移 (単位：%)	2021/03	2022/03	2023/03	2024/03	2025/03
単体	8.16	7.99	8.03	8.02	8.93
連結	8.43	8.24	8.27	8.22	9.10

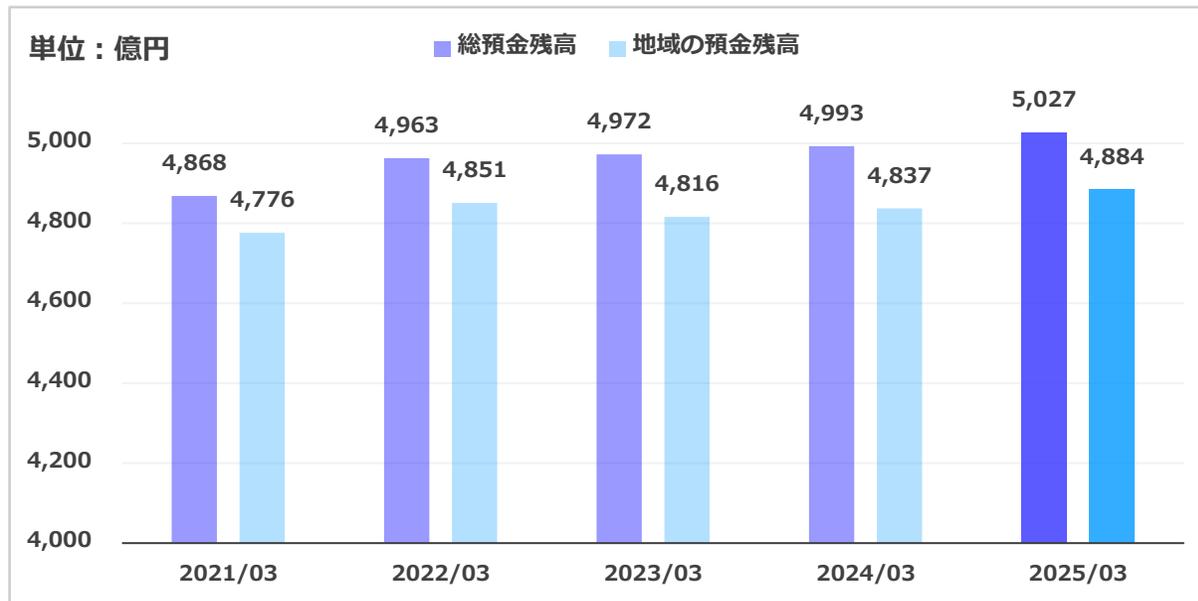
自己資本額及び自己資本比率推移



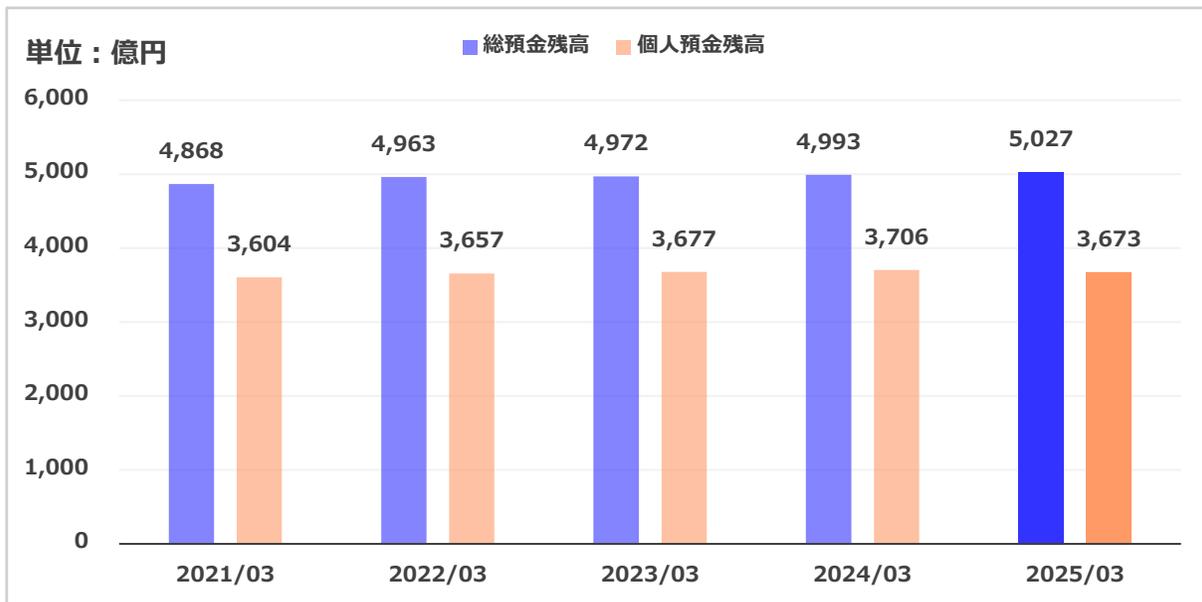
4 預金の推移

預金残高 (単位：億円、%)	2025/03	前期比	増減率	2024/03
総預金残高	5,027	34	0.68	4,993
個人預金残高	3,673	△33	△0.89	3,706
法人預金残高	1,353	67	5.20	1,286

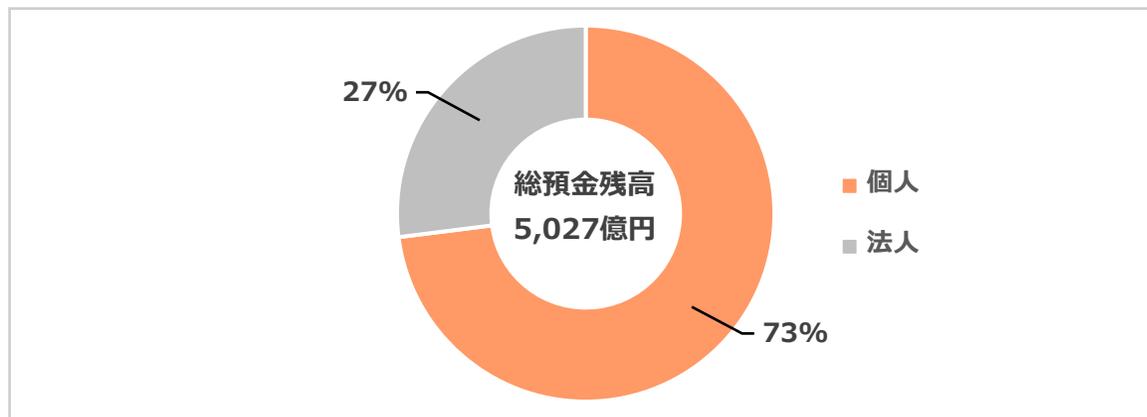
地域別預金残高推移



総預金・個人預金残高推移



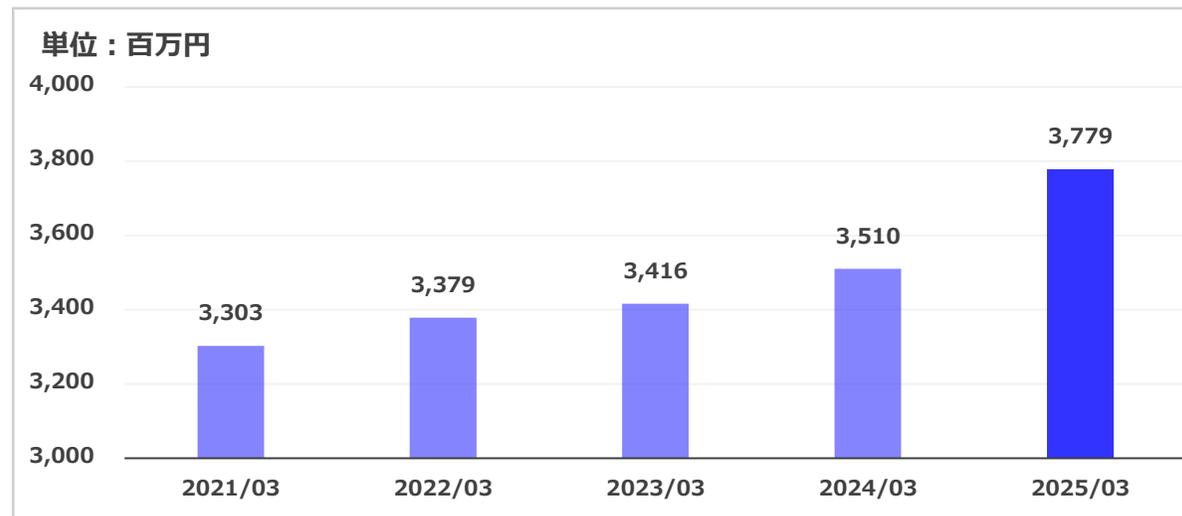
個人・法人別預金残高比率



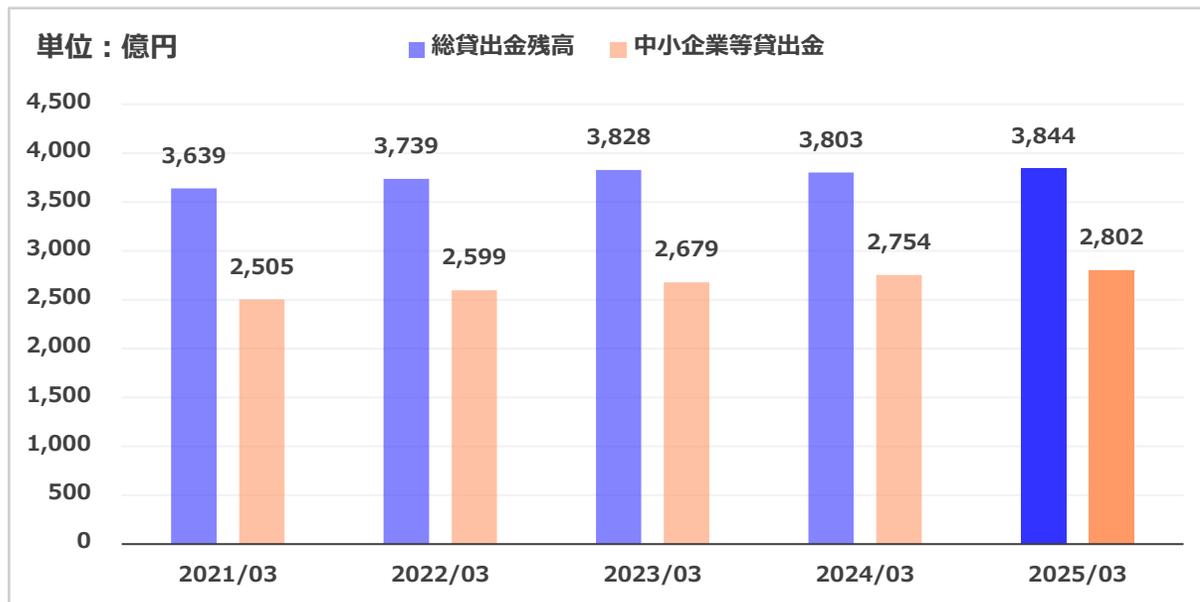
4 貸出金の推移

貸出金残高 (単位：億円、%)	2025/03	前期比	増減率	2024/03
総貸出金残高	3,844	41	1.07	3,803
中小企業等貸出金	2,802	48	1.74	2,754
中小企業等貸出金比率	72.91	0.49	—	72.42
消費者ローン残高	450	8	1.80	442

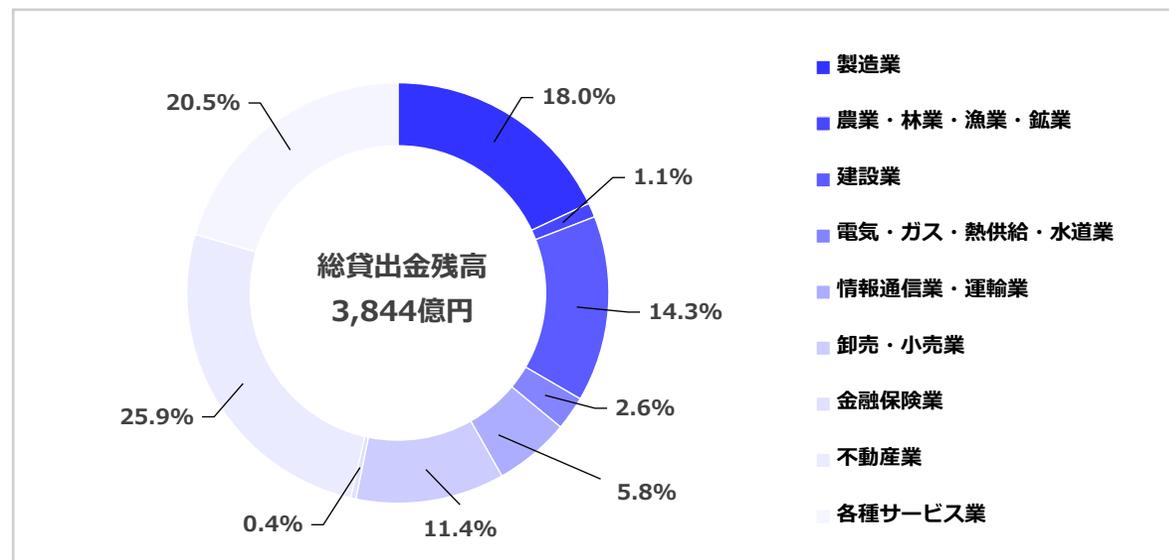
貸出金利息推移



総貸出金・中小企業等貸出金残高推移

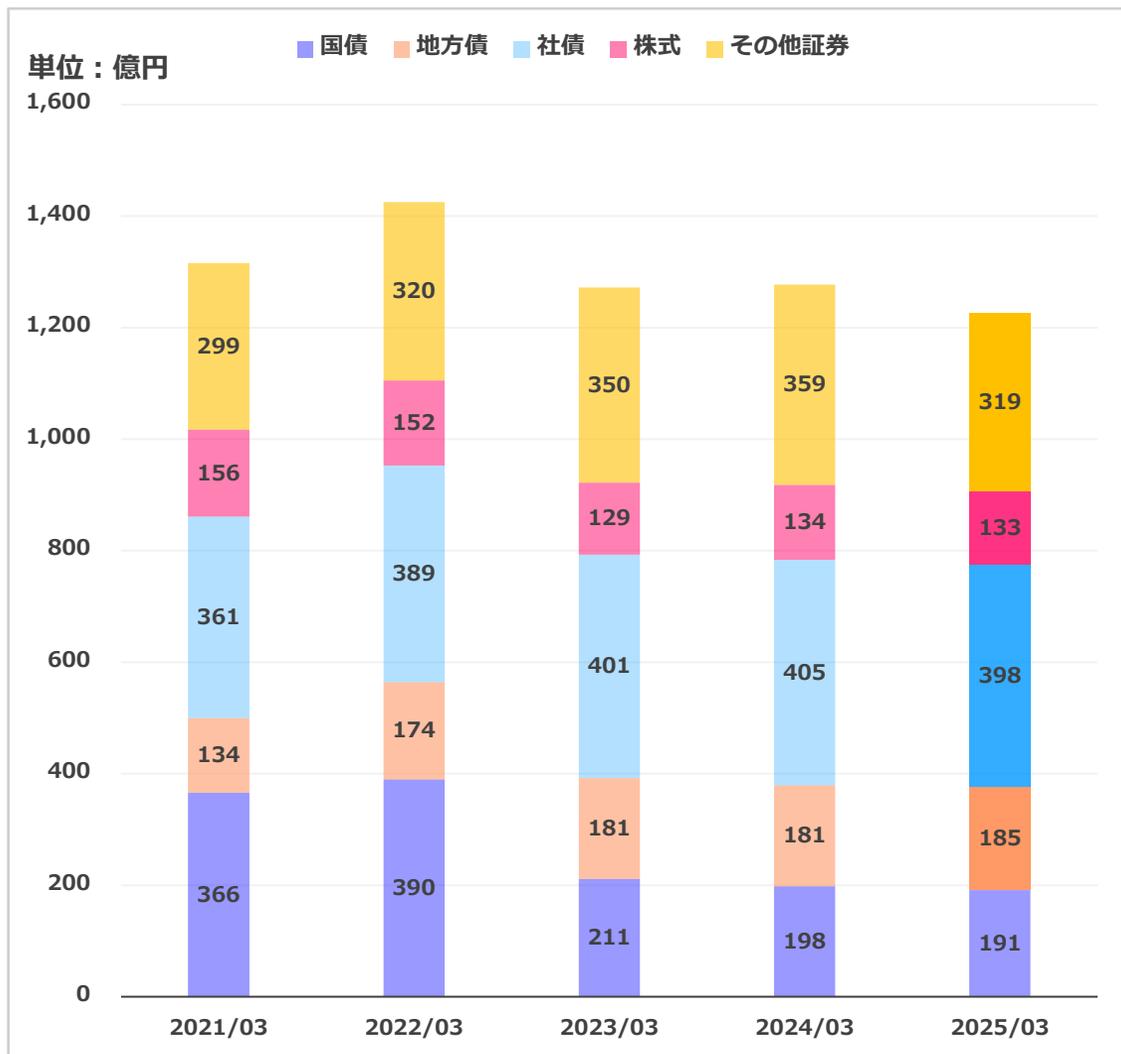


業種別貸出残高比率

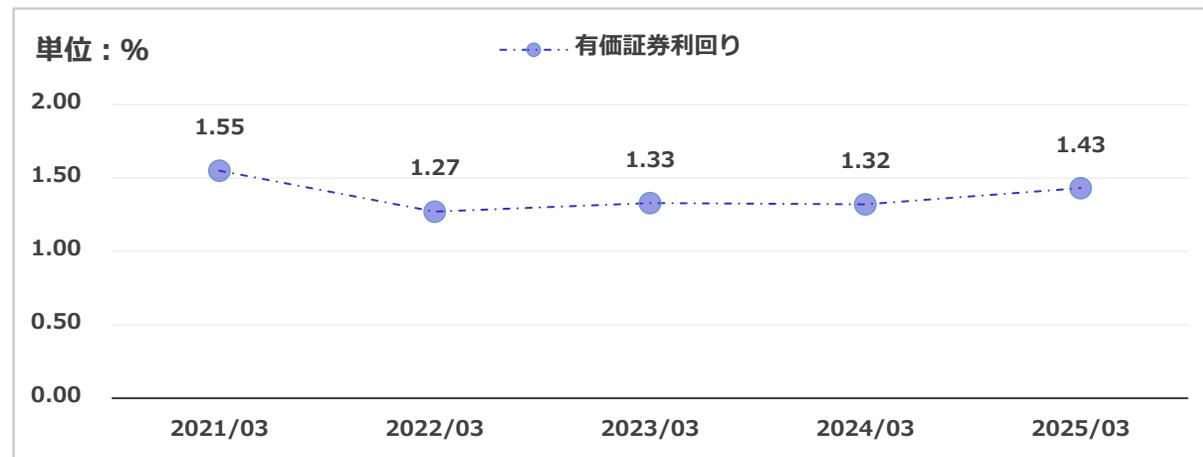


4 有価証券の推移

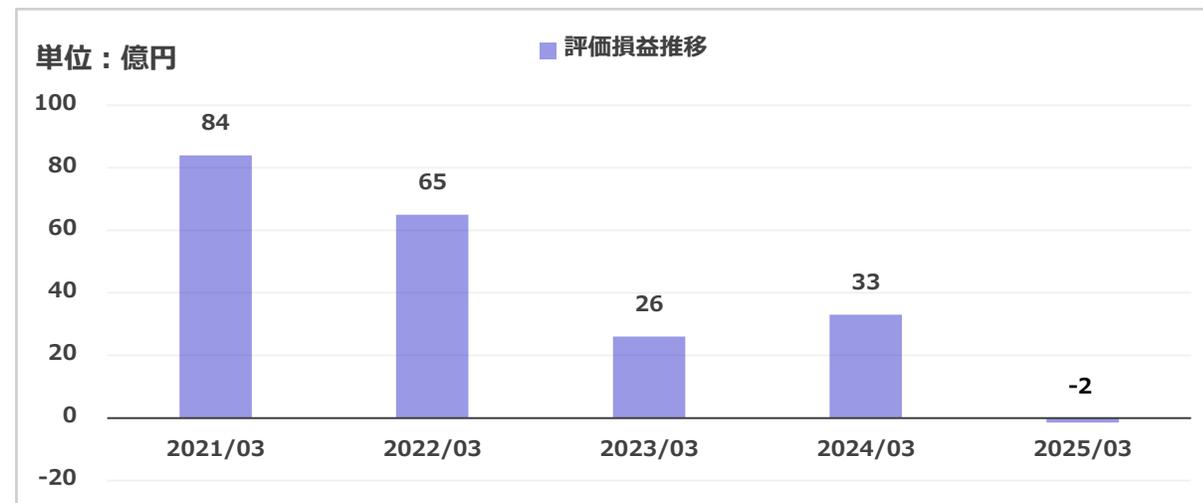
保有有価証券別残高推移



有価証券利回り推移



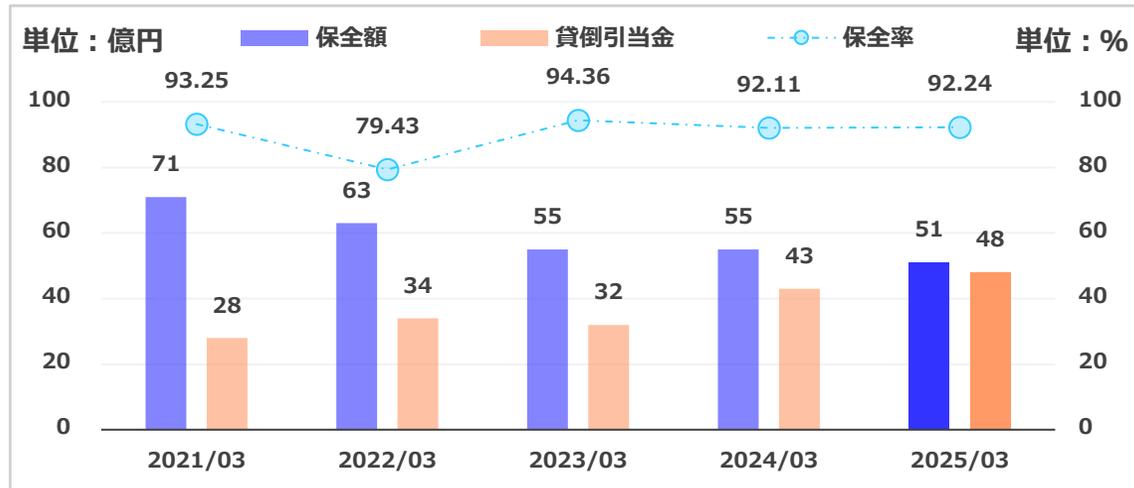
有価証券評価損益推移



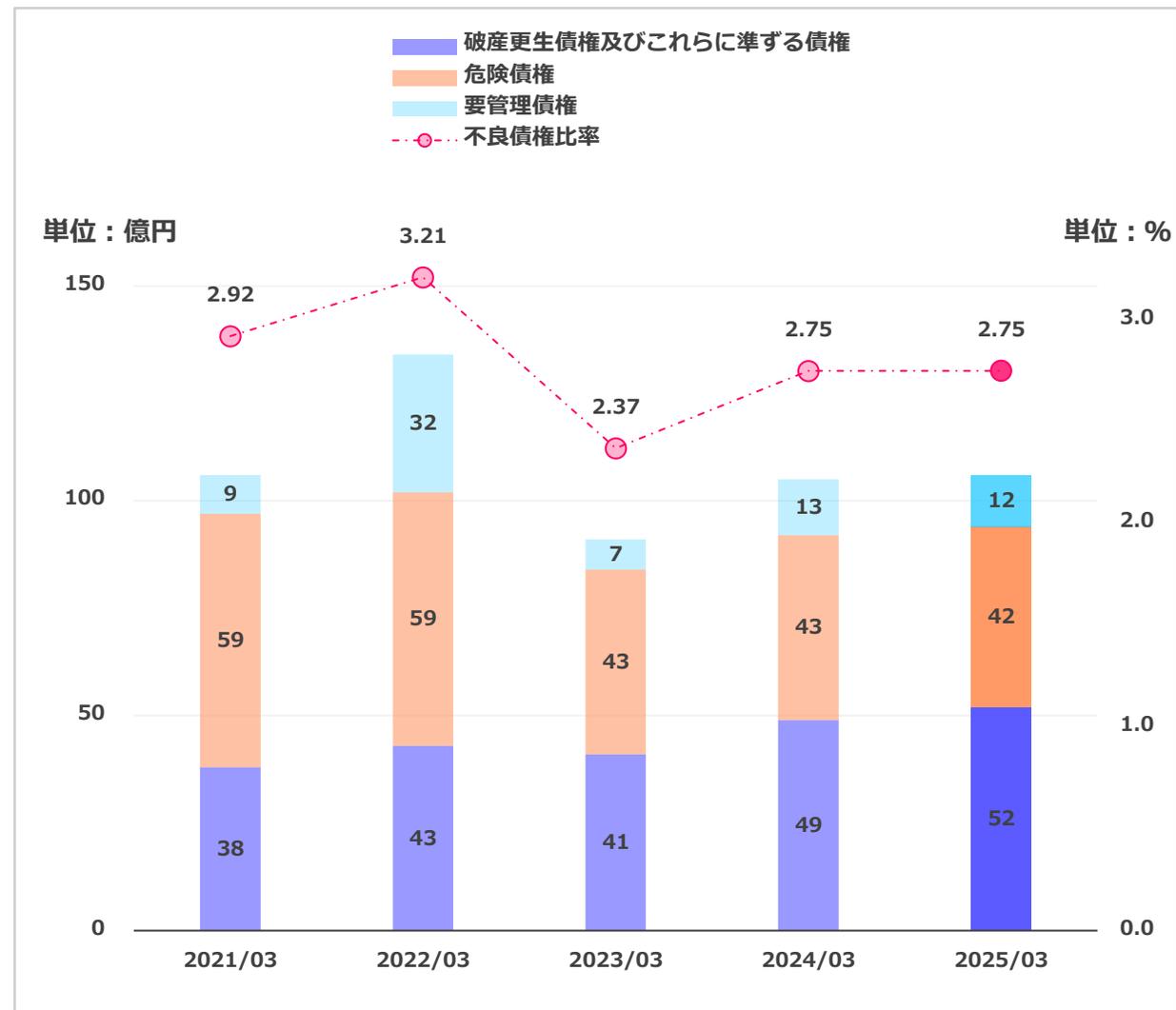
4 不良債権の推移

与信関係費用 (単位：百万円)	2025/03	前期比	2024/03
一般貸倒引当金繰入額	143	△177	321
不良債権処理額	466	△802	1,269
貸出金償却	—	—	—
個別貸倒引当金繰入額	451	△817	1,269
その他の債権売却損等	15	15	—
特定海外債権引当勘定繰入	—	—	—
貸倒引当金戻入益	—	—	—
与信関係費用	610	△980	1,590

保全額及び保全率推移



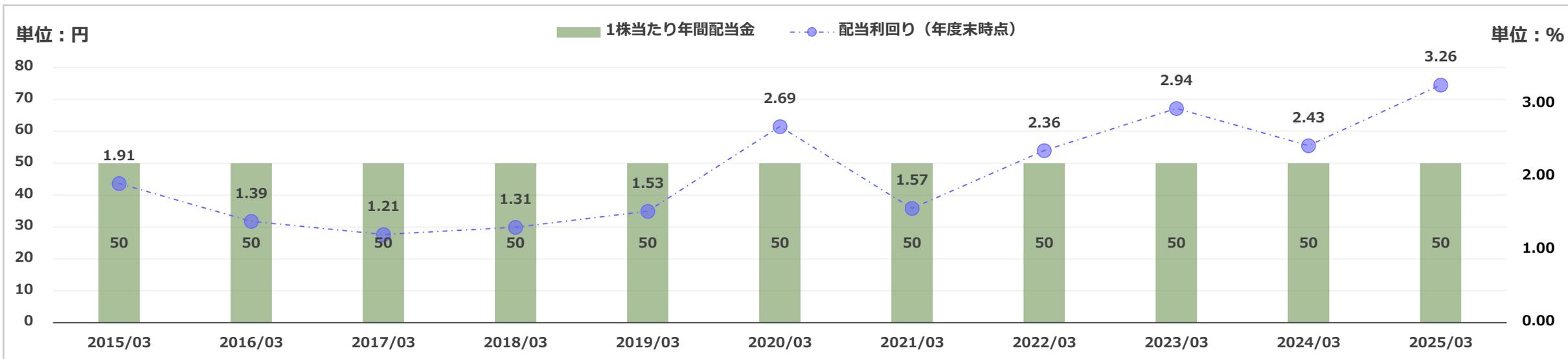
不良債権残高及び不良債権比率推移



4 株主配当の状況・推移

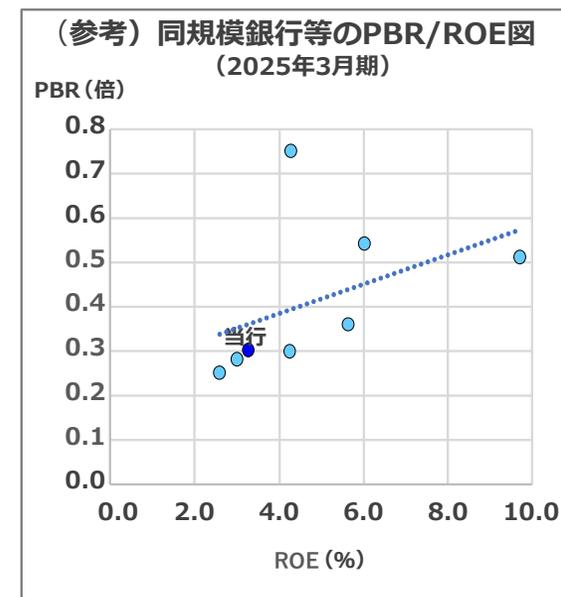
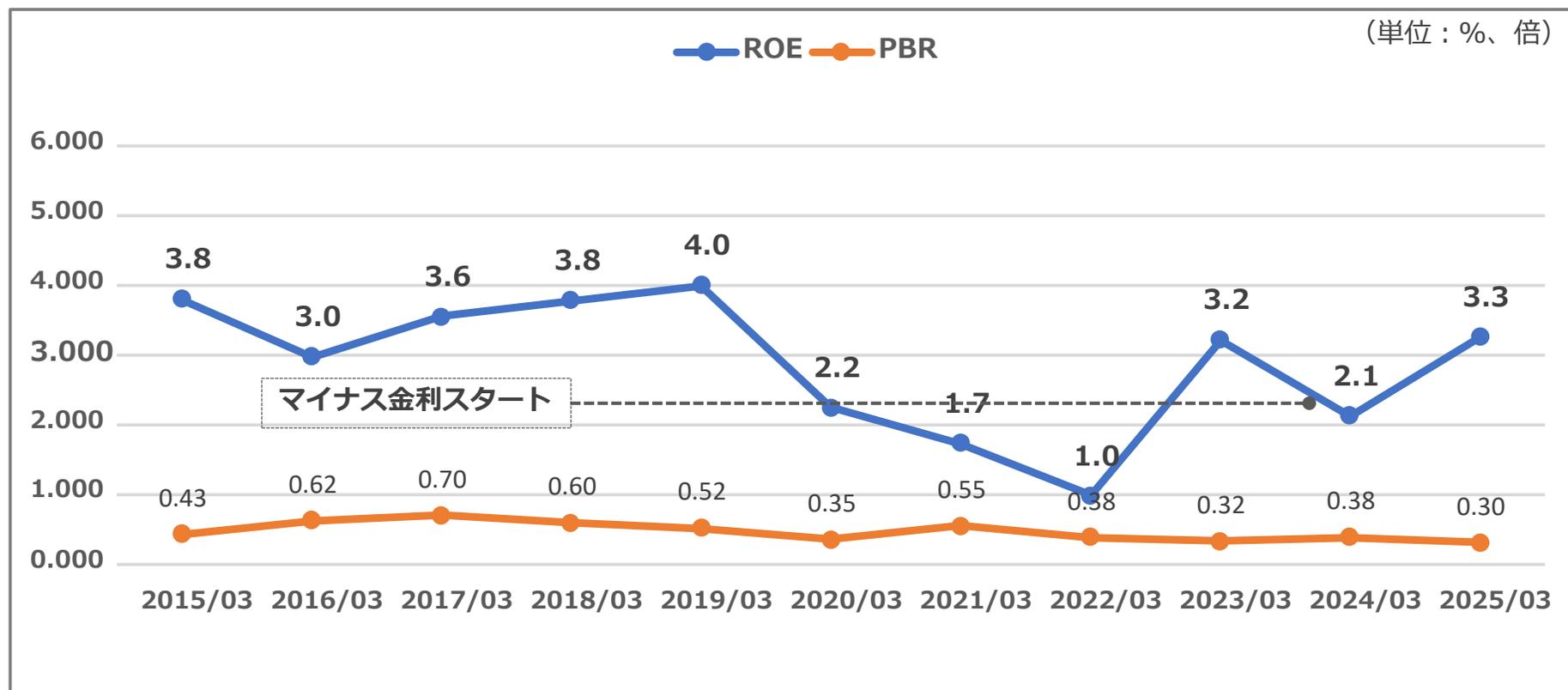
配当の状況	1株当たりの配当金			配当金総額	配当性向	純資産配当率	1株当たり 当期純利益	ROE
	中間期	期末	合計	(合計)	(連結)	(連結)	(連結)	(連結)
単位	円・銭	円・銭	円・銭	百万円	%	%	円・銭	%
2024年3月期	25.00	25.00	50.00	270	42.8	0.9	116.68	2.1
2025年3月期	25.00	25.00	50.00	271	28.1	0.9	177.35	3.2
2026年3月期(予想)	25.00	25.00	50.00	—	35.8	—	—	—

1株当たり年間配当金、配当利回り推移



4 企業価値向上に向けた取組み～現状認識

- ・ 金融経済環境が大きく変化するなか、トップライン収益力の強化、効率的な経営の実践に取り組むも、PBRは低水準で推移
- ・ ROEの向上と株主資本コストの抑制（PERの向上）に向けた取組みに注力



4 企業価値向上に向けた取組み～PBRロジックツリー

- 第7次中期経営計画（2024年度～2028年度）遂行によるPBRの改善
 - RORAを意識し収益力を向上させるとともに、自己資本水準の適正なコントロールによりROEの向上を図る
 - 地域の課題解決等を通じて地域経済を活性化し、持続的な利益成長を実現。期待成長率を向上させ、株主資本コストの抑制を図る

PBRの計算式

$$\begin{aligned}
 \text{PBR} &= \text{ROE} \times \text{PER} \\
 &= \text{ROE} \div \left(\frac{\text{株主資本コスト} - \text{期待成長率}}{\text{（広義の株主資本コスト）}} \right)
 \end{aligned}$$

株主資本コストの現状認識

当行では、株主資本コストを8%程度と認識

2023年度末の株主資本コスト (CAPMに基づき当行独自で算定)	8%程度
--------------------------------------	------

企業価値向上
中計最終年
(PBR0.5倍以上)

ROE向上
(2025/3末：3.3%)
中計最終年：3.1%

広義の株主資本コスト
の抑制
(6%以下を目指す)

収益力の向上
(RORAの改善)

×

自己資本比率の
コントロール

期待成長率の向上

- ・リスク・アセットの効率的な入れ替え

- ・ソリューション関係手数料を軸とした収益の向上

- ・財務レバレッジコントロール

- ・自己資本比率8%台維持

- ・本業を通じた地域貢献と課題解決による持続的な成長

- ・非財務情報を含めた開示の充実
(環境配慮型経営、人的資本経営など)